

# 善了寺ニュース2月号

今月の主なメニュー

- |          |             |
|----------|-------------|
| 1, 善了寺日記 | 3, お知らせ     |
| 2, 行事案内  | 4, 還る家ともに日誌 |

発行責任：浄土真宗本願寺派  
善了寺住職 成田智信  
第236号  
発行日：平成28年2月1日

## 善了寺日記

あつという間に、二月がやってきましたね。みなさん、いかがお過ごしでしょうか。寒さが厳しくなっています。どうか、御身体をご自愛ください。

本堂のヨシ壁のご縁を味わう

ご門徒のみなさまの温かいご支援とご協力を頂き、本堂および、客殿、庫裏（デイサービス棟）の新築事業も終盤に入ってまいりました。おかげさまで実感している日々の現場です。本堂にありがとうございます。本堂の足場も外れ、内装も着々と進んでおります。特に、足場が外れたことで、本堂の外壁が美しくご覧いただけるようになりました。ご法事の際に多くのご門徒の方々に、驚きと喜びの声を頂いております。

今回の本堂は、すでにお知らせしておりますように、琵琶湖の葦（ヨシ）が葺かれて壁になっていきます。親鸞聖人がご流罪になった時に、滋賀県の近江八幡側を移動して、新潟へ向かっていられるという研究があり、親鸞聖人の御苦労を偲ぶ壁となっております。二月中には、親鸞聖人像にお戻りいただく予定になっております。完成が待ち遠しいですね。

学びを深めていくと、親鸞聖人がご活躍された当初は、各地にあるお堂を拠点として伝道の旅を続けておられた。ということと共に、親鸞聖人を慕われた門弟の方々には、それとなく「道場」を建てるように親鸞聖人がお言葉を述べていたことが、覚如上人の『改邪抄』に出ています。この念仏道場を出発点として、浄土

真宗のお寺は、成立していきます。白川郷に鎌倉時代当初の念仏道場が復元されているのですが、白川郷ということもあり、当然、茅葺の屋根です。道場については、住宅よりちよつと棟を高くして建てたらどうだろうと親鸞聖人がアドバイスを残しておられます。間思堂のように、内陣もなく、外陣もない。まさに道場です。今回の本堂も、なるべく内陣と外陣の差を分けずに一体感のある本堂にしたいと思っていました。念仏道場を学ばせていただいたときに、今回の本堂とつながる大きな絆を感じました。

### 報恩感謝の建築事業

この度、ご門徒の皆様と共に本堂他の建築事業をすすめてさせて頂くご縁を頂きました。学びを深めるほどに、この事業の基本は、「報恩感謝」であると思えます。善了寺が伝えられた歴史は、阿弥陀如来様の大慈悲がこの世に伝えられてきた事実の積み重ねでした。時代に迷うこともたくさんあったと思います。それでも、「みほとけの慈悲を伝えたい。」「先人の方々のつぎうごかされた願いが、今ここに、生きているのだと思えます。」「報恩感謝」とは、「みほとけの慈悲を伝えていくことです。」「皆さんと共に伝えていきたいと思えます。ヨシ葺きの壁も、鎌倉時代は屋根でした。今、都市部では屋根をふくことはできません。昔に戻ることはすでにできないのです。しかし、時代を貫く大慈悲の願いに出会い、先人の方々の「お慈悲を伝えたい」という熱い思いに出遇うとき、過去にもどるのではなく、学びを深め、今に活かし、未来を切り開くことができるのだと思えます。



念仏道場とは、仲間づくりの場

「道場」というと剣道場等どうしても武道系を思い浮かべますね。敵味方に分かれて戦うという単純な話ではないと思うのです。そこは、お互いを敬い、学びにかえていく場ではないでしょうか。阿弥陀様の前は、勝ち負けだけではありません。誰も凡夫であり、力なき人間であることに立ち返り、その私が、悠久の歴史と共に多くの仲間生命に、支えられて生かされていくことに感謝して仲間をつくっていく場です。新しい本堂は、皆さんと一緒に慈悲を伝える念仏道場でありたいと思います。是非、一人でも多くご縁を伝えてきましょう。

### 住職雑感

● 去年の記事は、戸塚大踏切が閉鎖になることを書いていました。あつという間の一年ですね。今年も、三月に、踏切前の広場等が出来上がります。これによって概ね開発事業は終了します。本当に戸塚は、変わりました。ありがとうございます。多くの方々のご尽力に心から敬意を表します。

● お寺も、五月のご遷仏法要・永代経法要、六月のデイサービス還る家ともに一〇周年記念事業、そして、一〇月の本堂等落慶法要・報恩講法要と大きな行事が続く一年になります。今、三月の定例役員会に向けて、年度計画を立案中です。ご門徒皆さまの温かいご支援ご協力を頂きながら、本堂等竣工後も落慶法要円成まで、確かな歩みを重ねてまいりたいと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

● 毎年のお送りしているお知らせを同封させていただきます。今年もご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



# 平成28年2月・3月の行事予定

定例法話会 2/8(月)14時  
浄土真宗本願寺派総合研究所  
前田壽雄 師  
親鸞聖人・浅井成海先生月命日  
2/16(火)14時

引き続き『今を生かされて』輪読会※途中参加大歓迎です。輪読会は14時40分頃から4時ごろまで開催しています。  
2月のカフェ・デラ・テラ  
テラ・ヨガ教室  
2/13(土)18時 2/26(金)10時  
※詳細はお寺に直接ご連絡ください。

定例法話会 3/8(火)14時  
本願寺派布教使 宮本義宣師  
親鸞聖人・浅井成海先生月命日  
3/16(水)14時  
引き続き『今を生かされて』輪読会

春季彼岸会期間  
3/17(木)～23日(水)  
期間中毎日 10時・14時 法要  
詳細 次号



懐かしい文化と新しい暮らしと出会う

情報マガジン

茶 堂～CHA-DEAU～

<http://www.chadeau.com/>

気軽にアクセスしてください



発行責任 浄土真宗本願寺派善了寺 住職成田智信

メール: [yan0348@gmail.com](mailto:yan0348@gmail.com) ホームページ <http://www.zenryouji.jp/>

住所: 横浜市戸塚区矢部町125 電話: 045-881-0348 FAX: 045-881-0379